

柏崎刈羽原子力発電所6号及び7号炉 指摘事項に対する回答一覧表
(5号炉原子炉建屋内緊急時対策所)

No.	審査日	指摘事項	回答			
			回答状況	回答日	回答資料	回答
1	2016/9/13	緊急時対策所の機能(気密性、建屋内アクセスルート等)を整理した上で、機能が維持されることを説明すること。	準備中 一部、第422回会合及び第426回会合にて回答	次回会合 H28.12.15 H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・高気密室を除く対策本部関連設備の耐震性については12/15会合にて説明 ・高気密室については、要求機能を整理した上で、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、機器・配管系としての耐震設計を実施し、要求機能を確保する旨を12/27会合にて説明 ・待機場所、屋内アクセスルートについては12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
2	2016/12/15	大湊側緊対所の竣工時期を本文に記載すること。	準備中 一部、第426回会合にて回答	次回会合 H28.12.27	資料1-2 (第426回)	・大湊側緊対所の竣工時期(平成30年7月竣工予定)を12/27会合で説明 ・記載内容については12/15会合及び12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
3	2016/12/15	高気密室の耐震性の確認はどのように実施しているのか説明すること。	回答済	H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・高気密室については、要求機能を整理した上で、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEAG4601-1991追補版」に基づき、機器・配管系としての耐震設計を実施し、要求機能を確保する旨を12/27会合で説明
4	2016/12/15	5号緊対所待機所について、適切に放射線防護ができることを説明すること。	一部本日回答 準備中	次回会合	資料1-1-2	・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の待機場所に関する役割、要件について整理するとともに、事故対応における使用方法や設備設計方針について説明する ・待機場所の放射線防護のための設備等については、上記と12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
5	2016/12/15	可搬型陽圧化空調機がSs機能維持することを説明すること。	回答済	H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・可搬型陽圧化空調機のSs機能維持にかかる12/15会合資料の記載を充実させ、12/27会合で説明
6	2016/12/15	待機場所用の可搬型陽圧化空調機の保管場所を示すこと。	準備中	次回会合		・待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
7	2016/12/15	可搬型陽圧化空調機は、使用機器と予備機を同じ場所に保管しないこと。	準備中 一部、第426回会合にて回答	次回会合 H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・対策本部の可搬型陽圧化空調機の保管場所について予備機を分散する旨を12/27会合で説明 ・待機場所の可搬型陽圧化空調機については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
8	2016/12/15	平日昼間において、事故時に指揮にあたる職員が必ず確保されていることを説明すること。	準備中	次回会合		・事象発生後の原子力防災組織の各要員の役割について、通常勤務場所と緊対所間の移動を踏まえて再整理している ・12/27会合の再指摘事項(No.31)に対する回答とあわせて、次回回答にて回答する
9	2016/12/15	対策本部での空気ポンペ陽圧化装置から可搬型陽圧化装置への切替による陽圧化の手順も追記すること。また、待機場所での可搬型陽圧化装置による陽圧化の手順の記載をすること。	準備中 一部、第426回会合にて回答	次回会合 H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・対策本部の空気ポンペ陽圧化装置から可搬型陽圧化装置への切替手順を12/27会合で説明 ・待機場所の陽圧化手順については12/15会合コメントを踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する

No.	審査日	指摘事項	回答			
			回答状況	回答日	回答資料	回答
10	2016/12/15	自主整備防火帯を自主とする理由と、新たに追加したアクセスルートにクレジットをとる理由を詳細に説明すること。	準備中	アクセスルート会合		・アクセスルートに関する指摘事項であるため、アクセスルートの会合にて回答する
11	2016/12/15	新たに追加したアクセスルートが浸水しないことを説明すること。	準備中	アクセスルート会合		・アクセスルートに関する指摘事項であるため、アクセスルートの会合にて回答する
12	2016/12/15	緊対所近傍に残る職員と緊対所を立ち上げる要員の考えについて説明すること。	準備中	次回会合		・免震棟緊対所から5号炉緊対所へ視点を切り替える際の指揮について、12/27会合指摘事項を踏まえて再整理している ・12/27会合の再指摘事項(No.32)に対する回答とあわせて、次回会合にて回答する
13	2016/12/15	5号緊対所へのアクセスルートは複数箇所設定すること。	準備中	次回会合		・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所への屋内アクセスルートについては12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
14	2016/12/15	緊対所電源を可搬型電源としている理由、可搬設備は12時間使えないとするこれまでの説明との整合性、台数の考え方について説明すること。	回答済	H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・可搬型電源の考え方について、12/27会合で説明
15	2016/12/15	チェンジングエリアは3号緊対所と同等以上のものとする。	準備中	次回会合		・チェンジングエリアについては、12/15会合指摘事項(屋内アクセスルート、待機場所)を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
16	2016/12/15	5号緊対所の対策本部に留まる要員を示し、その居住性を説明すること。	回答済	H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・対策本部に留まる要員を明確にし、空調設計の説明に反映し、12/27会合で説明
17	2016/12/15	ブルーム通過後、必要に応じて一時退避した要員が緊対所待機場所へ戻るが、その要員の被ばく評価等を説明すること。	一部本日回答 準備中	次回会合	資料1-1-2	・5号炉原子炉建屋内緊急時対策所の待機場所に関する役割、要件について整理するとともに、事故対応における使用方法や設備設計方針について説明する ・待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
18	2016/12/15	陽圧化開始が遅延することによる影響を2分としているが、2分の根拠を説明すること。	回答済	H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・モックアップによる検証結果である旨を、12/27会合で説明
19	2016/12/15	空気ポンプ陽圧化装置から可搬型陽圧化装置への切り替えについて、切り替え遅れによる影響を説明すること。	準備中	次回会合		・建屋内空気の入れ替わりについては12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
20	2016/12/15	遮蔽モデルの保守性や誤差等を先行の審査を踏まえ説明すること。	回答済	H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・遮蔽モデルの保守性・誤差等の考え方について、12/27会合で説明 ・コンクリート施工誤差を考慮した被ばく評価結果については次回会合にて61-10 2.2にも記載する
21	2016/12/15	5号緊対所の被ばくについては、DSピットやSFPの水が抜けた場合で説明すること。	準備中 一部、第426回会合にて回答	次回会合 H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・対策本部について、DSピットとSFPの影響を12/27会合で説明 ・待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
22	2016/12/15	補助壁の機能要求の考え方について説明すること。 (支持性能、遮蔽性能等)	準備中 一部、第426回会合にて回答	次回会合 H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・対策本部(高気密室)に係る、建屋躯体への機能要求の考え方を12/27会合で説明 ・建物・構築物の耐震設計の説明資料については、12/15会合指摘事項(待機場所)を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する

No.	審査日	指摘事項	回答			
			回答状況	回答日	回答資料	回答
23	2016/12/15	鋼製の高气密室については許容限界等を含めて機能維持及び施設区分に対応した設計方針を説明すること。	回答済	H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・高气密室については、要求機能を整理した上で、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEA4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEA4601-1991追補版」に基づき、機器・配管系としての耐震設計を実施し、要求機能を確保する旨を12/27会合で説明
24	2016/12/15	高气密室の耐震性について、耐震壁の歪み等をもとに基準地震動に対して評価基準値を満足することを確認したとしているが、事実即した記載に改めること。	回答済	H28.12.27	資料1-3 (第426回)	・高气密室の耐震性評価基準について記載の修正を実施 ・高气密室が設置される原子炉建屋の躯体についても、要求機能を整理した上で、「原子力発電所耐震設計技術指針 JEA4601-1987」及び「原子力発電所耐震設計技術指針 JEA4601-1991追補版」に基づき、建物・構築物としての耐震設計を実施し、要求機能を確保する旨を12/27会合で説明
25	2016/12/15	待機所について、緊急時対策所の対象物として耐震性を持たせる設計であること、及び可搬型の陽圧化装置で陽圧化する場合に躯体で気密性を維持できることを説明すること。(施設側と耐震側の資料の整合性)	準備中	次回会合		・待機場所については12/15会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
26	2016/12/27	緊対所の機能概要比較図を修正すること	準備中	次回会合		・緊対所の機能概要比較図については、12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
27	2016/12/27	大湊側緊対所の説明を再度載せること	準備中	次回会合		・大湊側緊対所に関する記載内容については12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
28	2016/12/27	緊対所の電源設備の予備ケーブルについて説明すること	準備中	次回会合		・電源設備に関する記載内容については12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
29	2016/12/27	緊対所の電源設備切替はケーブルの繋ぎこみを含めた時間で示すこと	準備中	次回会合		・電源設備に関する記載内容については12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
30	2016/12/27	空気ポンプ陽圧化装置と可搬型陽圧化空調機の切替えについて、容量、切替えのための設備・手順、余裕時間について説明すること	準備中	次回会合		・空調設備に関する記載内容については12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
31	2016/12/27	原子力防災組織の各要員が事象発生後にどのように行動するか、通常勤務場所と緊対所間の移動時間、立ち入り禁止区域等の観点で説明すること	準備中	次回会合		・事象発生後の原子力防災組織の各要員の役割について、通常勤務場所と緊対所間の移動を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
32	2016/12/27	本部長及び本部長代行が移動中に指揮することについて見直すこと	準備中	次回会合		・免震棟緊対所から5号炉緊対所へ拠点を切り替える際の指揮について、12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
33	2016/12/27	グラウンドシャインガンマ線の評価のモデルに、TMSLを追記すること	準備中	次回会合		・被ばく評価に関する記載内容については12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
34	2016/12/27	DSP(蒸気乾燥器、セパレータ)の線量評価で、モデルを説明すること	準備中	次回会合		・被ばく評価に関する記載内容については12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
35	2016/12/27	線量評価において、炉心熱出力を考慮にいれた線源について説明すること	準備中	次回会合		・被ばく評価に関する記載内容については12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する
36	2016/12/27	クラウドシャイン被ばく線量評価における保守性について、距離減衰の扱い含め整理して説明すること	準備中	次回会合		・被ばく評価に関する記載内容については12/27会合指摘事項を踏まえて再整理しており、次回会合にて回答する